

日本人留學生が選ぶ海外語学学校ランキング 「Japan Best School Awards 2019」を発表

～アワード創設10周年記念、10年間総合評価の高い「ベスト・オブ・ザ・ベスト」も同時発表～

雑誌「留学ジャーナル」の発行元であり、日本最大級の留学エージェントでもある株式会社留学ジャーナル（本社：東京都新宿区信濃町34 JR信濃町ビル 代表取締役社長：高木 憲一郎）は、日本人留學生500名の評価をもとに集計した2019年版の海外語学学校ランキング「Japan Best School Awards 2019」を当社Webサイト（3月8日公開）にて発表、その後「留学ジャーナル2019年5月号」（3月10日発行）にも掲載します。また、アワード創設10周年を記念し、10年を通して総合的に評価が高かった学校を選出した「ベスト・オブ・ザ・ベスト」も合わせて発表します。

■「Japan Best School Awards 2019」総合ランキング

順位	学校名(所在地)	総合平均点
第1位	ウィンブルドン スクール オブ イングリッシュ(イギリス)	4.800
第2位	ナビタス イングリッシュ、マンリービーチ校(オーストラリア)	4.750
第3位	カプラン インターナショナル イングリッシュ、バンクーバー校(カナダ)	4.600
第3位	インパクト イングリッシュ カレッジ、メルボルン校(オーストラリア)	4.600

■過去10年間総合ランキング第1位「ベスト・オブ・ザ・ベスト」

グローバル ビレッジ イングリッシュ センターズ、バンクーバー校 (カナダ) 総合平均点：4.3096

※「Japan Best School Awards 2019」のランキング詳細、調査概要は次頁をご参照ください。

※特設サイトもあわせてご覧ください：<https://www.ryugaku.co.jp/spot/award/index.html>



左:「Japan Best School Awards 2019」第1位の「ウィンブルドン スクール オブ イングリッシュ」

右:「ベスト・オブ・ザ・ベスト」第1位の「グローバル ビレッジ イングリッシュ センターズ、バンクーバー校」

「Japan Best School Awards」は、留学ジャーナルが500名の留學生に「学校スタッフ」「滞在先」「学校の施設」「授業の質」「環境」の項目ごとに5点満点で評価してもらい、総合平均点が高い順にランク付けしたものです。

今年度は、ポンド安の影響でイギリスの語学学校の人気が高く、2校が上位10位にランクインしました。第1位に選ばれた「ウィンブルドン スクール オブ イングリッシュ」はロンドンの高級住宅地に建つ歴史ある学校です。ビクトリア様式の美しい校舎で、世界40カ国から集まった多くの留學生たちと交流できます。同校は「滞在先」「授業の質」「環境」の3項目で平均点が5点満点と、優れた評価を得ました。

また、10年間通して総合評価が高かった「ベスト・オブ・ザ・ベスト」には、「グローバル ビレッジ イングリッシュ センターズ、バンクーバー校」が選ばれました。クラス人数が最大15名までの少人数制で、質の高い授業内容はもちろん、アットホームな雰囲気と生徒への手厚いサポートが長年評価され続けています。

留学ジャーナルではこのような表彰制度を通して、良質な語学学校への留学支援に努めるとともに、より一層のサービス向上に取り組んでまいります。

～本件に関する報道関係者様のお問い合わせ～

株式会社 留学ジャーナル 広報担当：石澤、久保

TEL：03-5312-4623 FAX：03-5312-4469

E-mail：rj-pr@ryugaku.co.jp URL：https://www.ryugaku.co.jp

<参考情報>

■「Japan Best School Awards 2019」ランキング一覧

順位	学校名(所在地)	総合平均点
第1位	ウインブルドン スクール オブ イングリッシュ(イギリス)	4.800
第2位	ナビタス イングリッシュ、マンリービーチ校(オーストラリア)	4.750
第3位	カプラン インターナショナル イングリッシュ、バンクーバー校(カナダ)	4.600
第3位	インパクト イングリッシュ カレッジ、メルボルン校(オーストラリア)	4.600
第5位	ケアンズ ランゲージ センター ユーロセンター、ケアンズ校(オーストラリア)	4.533
第5位	ユーロセンター、ケンブリッジ校(イギリス)	4.533
第5位	バンウエストカレッジ、バンクーバー校(カナダ)	4.533
第8位	グローバル ビレッジ イングリッシュ センターズ、バンクーバー校(カナダ)	4.511
第9位	GLS キャンパス ベルリン(ドイツ)	4.467
第10位	グローバル ビレッジ イングリッシュ センターズ、ビクトリア校(カナダ)	4.400
第10位	セント ジャイルズ、ロンドン セントラル校(イギリス)	4.400

■過去10年を通して総合評価が高かった学校ベスト10

順位	学校名(所在地)	総合平均点
第1位	グローバル ビレッジ イングリッシュ センターズ、バンクーバー校(カナダ)※ベスト・オブ・ザ・ベスト	4.3096
第2位	コンバース インターナショナル スクール オブ ランゲージ、サンディエゴ校(アメリカ)	4.2953
第3位	ユニバーサル イングリッシュ カレッジ(オーストラリア)	4.2912
第4位	インターナショナル ランゲージ アカデミー オブ カナダ、トロント校(カナダ)	4.2727
第5位	ドミニオン イングリッシュ スクールズ、オークランド校(ニュージーランド)	4.2542
第6位	シャフストン インターナショナル カレッジ、ブリスベン校(オーストラリア)	4.2525
第7位	インターナショナル ランゲージ アカデミー オブ カナダ、バンクーバー校(カナダ)	4.2438
第8位	インターナショナル ハウス、バンクーバー校(カナダ)	4.1689
第9位	ILSC バンクーバー校(カナダ)	4.1687
第10位	イングリッシュ ランゲージ センター、ロサンゼルス校(アメリカ)	4.0704

■調査概要

	Japan Best School Awards 2019	ベスト・オブ・ザ・ベスト
回収期間	2018年1月～2018年12月	2009年1月～2018年12月
総回収数	留学体験者より約500名	留学体験者より約5,000名
調査エリア	世界11カ国	
調査方法	留学ジャーナルから留学された方からの、語学学校の評価レポート「現地レポート」の回収データを元に集計。「学校スタッフ」「滞在先」「学校の施設」「環境」「授業の質」という5つの採点項目があり、総合平均点を算出。※「ベスト・オブ・ザ・ベスト」については、今回はレポート回収数に下限を設定し、最終順位をつけている。	
発表方法	3月8日(金)に留学ジャーナルWebサイト https://www.ryugaku.co.jp/spot/award/index.html にて発表。その後留学情報誌「留学ジャーナル5月号」(3月10日発行)誌面にも掲載	
評価内容	<p>評価内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校スタッフ: サポート体制やスタッフの温かさ 滞在先: ホームステイやホストファミリーの満足度 学校の施設: PCルームやラウンジスペースなどの充実度 授業の質: 講師の質や授業内容など 環境: 学校周辺の治安や周囲の環境など <p>※各評価内容の点数は小数点第3位までを表示</p>	

■特設サイト ※3月8日(金)より公開

特設サイトでは「学校スタッフ」「滞在先」「学校の施設」「環境」「授業の質」の項目別ランキングや、ランキング上位校のスタッフや現地留学生のコメントもご覧いただけます

<https://www.ryugaku.co.jp/spot/award/index.html>